

テーマ別研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチによる相談支援

【講義1】研修のねらいと構成

同志社大学 空閑 浩人

1 研修の趣旨とねらい

- ① 今日人々が経験する様々な生活困難や生活困窮状態に共通する「孤独・孤立」の状態についての理解を深める。
- ② 孤独や孤立状態にある人々に対する支援員としての視点や支援のアプローチ、展開について学ぶ。
- ③ 支援機関や団体が行っている具体的な実践事例や支援事例を通して学ぶ。
- ④ 「オンデマンド配信」とあわせて、「ライブ配信」による意見交換や支援員同士の交流を通して学びを深める。

2 オンデマンド配信プログラム

【講義②】孤独・孤立対策の現在とこれから～地域での取り組みの推進の視点から～
内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与 大西 連 氏

【講義③-1】「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して～生きることの包括的支援としての自殺対策とは～

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）地域連携推進部長 小牧 奈津子 氏

【講義③-2】「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して～自殺対策と生活困窮者支援の連携事例～

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）地域連携推進部 地域支援室長 生水 裕美 氏

【講義④】孤独・孤立対策の意義と社会的処方について

京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野 教授 近藤 尚己 氏

【実践報告①】孤立状態にある方との出会い方

Optim's-pt（オプティムズ プロジェクト）代表 上原 久 氏

東近江圏域 働き・暮らし応援センター”Tekito-” センター長 野々村 光子 氏

【実践報告②】「住まい」を通じた支援

NPO 法人やどかりサポート鹿児島 特定非営利活動法人つながる鹿児島

理事長 芝田 淳 氏

【実践報告③】孤立する親子（8050 世帯）への支援

千葉市中央区基幹相談支援センター 管理者 伊藤 佳世子 氏

3 ライブ配信（令和5年12月20日（水）13時～17時）

- 孤独・孤立の状態にある人の理解
- 支援における他機関との連携
 - ・ 支援の現場で私たちが出会う事例をもとにして
 - ・ 孤独・孤立状態をどのように捉えるか
 - ・ 事例の見方、事例に対する考え方を見直す
 - ・ 支援者としての視点や支援の展開を考える

4 あらためて、生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割は何か？

“きちんと” → 丁寧な相談支援をする

“ずっと” → 切れ目のない支援をする

“みんな” → チームによる支援をする

“つながる・つくる” → 社会資源の活用と開発をする